

## 令和 7 年度国立大学法人筑波大学長の業績評価結果

### 1 目 的

国立大学法人筑波大学学長の業績評価に関する要項（令和 4 年 5 月 20 日学長選考・監察会議決定）に基づき、学長選考・監察会議は、監事との連携協力のもとで令和 7 年度の学長の業績評価を実施したものである。

### 2 日 時 等

- (1) 日 時：令和 7 年 10 月 24 日（金）14 時 00 分～16 時 20 分
- (2) 場 所：筑波大学東京キャンパス 337 会議室（東京都文京区大塚 3-29-1）
- (3) 方 法：以下のとおり実施した。
  - ① 学長によるプレゼンテーション
  - ② 学長選考・監察会議各委員と学長の質疑応答による対話
  - ③ 学長退席後、各委員の意見交換に基づく業績評価結果の取りまとめ審議
  - ④ 学長の業績評価について適正に実施されたことを監事が確認

### 3 評価対象期間

令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日

### 4 プレゼンテーション内容

学長から、「固定化された社会の変革に向けて」と題して、業績評価における 6 つの観点から具体的な説明が行われた。概要は以下のとおりである。

- (1) 観点 1 筑波大学の卓越性を高めるビジョンを学内外に明示し教育研究活動を実施しているか。
  - ・ 所信表明、年頭挨拶
  - ・ 国際卓越研究大学への申請
  - ・ 指定国立大学法人としての構想の概要
  - ・ 筑波大学 Vision2030
  - ・ 筑波大学統合報告書 2024 を発行
- (2) 観点 2 我が国の大学の教育研究力向上に資する先導的な施策を実施しているか。
  - ・ 高等研究院の設置、構成、キックオフ会
  - ・ 博士課程学生のキャリア形成支援の取組
  - ・ 「大学発医療系スタートアップ支援プログラム」の医療系スタートアップ支援拠点に決定
  - ・ グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業に採択
  - ・ 福島国際研究教育機構（F-REI）との連携協力
  - ・ 筑波大学附属病院 陽子線治療センター 新陽子線治療棟開所式
  - ・ 医学系研究支援プログラムに選定
  - ・ チュートリアル教育
  - ・ 学士課程から博士後期課程にいたる全学的な数理・データサイエンス・AI 教育体制
  - ・ 「大学の学びの先取り履修システム」の構築
  - ・ 「共生シンポジウムー共生社会を目指すつくばふぞくの集いー」を開催
- (3) 観点 3 グローバル化を推進する施策を実施し、教育研究の発展に寄与しているか。
  - ・ 国際ネットワーク
  - ・ 令和 7 年度大学の世界展開力強化事業～グローバル・サウスの国々との大学間交流形成支援～に選定

- ・ JV-Campus が「グローバル事例特別部門賞」を受賞
  - ・ 「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」に選定
  - ・ 学際・サイエンスデザイン専門学群（マレーシア校）
  - ・ Tsukuba Global Science Week 2024 (TGSW2024)
  - ・ 国際交流
- (4) 観点4 安定的な財政基盤を確立するための施策を実施しているか。
- ・ 学長を囲む会
  - ・ 海外同窓会ネットワーク Tsukuba Universal Alumni Network (TUAN) など
  - ・ UNIVERSITY OF TSUKUBA NIGHT 2025
- (5) 観点5 大学運営に関わる経営資源を戦略的に活用しているか。
- ・ 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）に選定
  - ・ 関彰商事株式会社様による野球・ソフトボール室内練習場の整備
  - ・ 第二エリア食堂を「S k y CENTER TERRACE」と命名
  - ・ 三井不動産との産学連携協定
  - ・ 筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」
- (6) 観点6 教職員の多様な能力を活用し不断の改革を実施しているか。
- ・ PRIDE 指標 2024 GOLD 受賞
  - ・ 女性限定公募、会議運営の見直し
  - ・ 経営的視点を有する人材の学内からの発掘・育成を推進
  - ・ 情報マネジメント室の設置
  - ・ 人事企画委員会任用部会委員構成を変更
- (7) その他
- ・ えがおカフェ、朝永振一郎記念第19回「科学の芽」賞、記念式典
  - ・ 学長と全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（全代会）構成員との懇談会（茶話会）

## 5 学長と学長選考・監察会議委員との主な質疑内容

学長のプレゼンテーション後、学長と委員との間で、業績評価における観点に基づき、以下の事項について質疑応答が行われた。

- (1) 観点1 筑波大学の卓越性を高めるビジョンを学内外に明示し教育研究活動を実施しているか。
- ・ 筑波大学の卓越性の対外的な説明について
  - ・ 筑波大学の国際性・学際性の対外発信戦略について
  - ・ 学内へのビジョン浸透の取り組みについて
- (2) 観点2 我が国の大学の教育研究力向上に資する先導的な施策を実施しているか。
- ・ 学群制の教育・研究への影響と改善点について
- (3) 観点3 グローバル化を推進する施策を実施し、教育研究の発展に寄与しているか。
- ・ マレーシア校における留学生増加施策について
  - ・ マレーシア校設立の目的達成状況と改善点について
- (4) 観点4 安定的な財政基盤を確立するための施策を実施しているか。
- ・ 筑波大学の理念を伝える物語の対外発信について
  - ・ 筑波大学の資金調達と共同事業展開について
  - ・ 筑波大学発ベンチャーの資金調達展開について
  - ・ 寄附獲得の取り組みについて
- (5) 観点5 大学運営に関わる経営資源を戦略的に活用しているか。
- ・ 自律的な学問文化を支える制度的寛容さの維持について
  - ・ 大学運営における経営資源活用の改善点について

(6) 観点6 教職員の多様な能力を活用し不断の改革を実施しているか。

- ・ 学長とプロボストの業務分担について
- ・ 教職協働について

(7) その他

- ・ 附属病院における教員採用について
- ・ 学長のサポート体制について

6 学長選考・監察会議委員からの意見・要望

永田学長は、国立大学法人筑波大学長として、国立大学を取り巻く様々な状況を踏まえ、高等教育機関である大学が果たすべき役割を念頭に本学の運営を行い、卓越性を高めるビジョンと強いリーダーシップを持って教育・研究・社会貢献・経営・グローバル化の各分野において先導的な施策を意欲的に実施しており、業績評価におけるすべての観点において実績を高く評価できる。組織運営においては、プロボストの設置や副学長との役割分担を通じて体制強化に取り組んでいる。

今後、引き続き不断の改革を実施していただくためにも、外部環境の変化に柔軟に対応できる組織づくりを推進するとともに、次世代のリーダー育成に取り組んでいただき、全国の大学を先導する学長として実力を発揮していただくことを期待する。

7 業績評価

学長選考・監察会議は、学長のプレゼンテーション及び委員との質疑応答による対話と討論を踏まえ、今回の評価項目である当該年度における取組・進捗状況、学長所信の状況等を業績評価における観点に基づき慎重に検討した結果、順調かつ着実に筑波大学を大きく発展させていると判断する。

8 評価結果の公表

業績評価結果については、「国立大学法人筑波大学学長の業績評価に関する要項」（令和4年5月20日学長選考・監察会議決定）第6条に基づき、本学のホームページに公表し、周知を行うものである。